

銀河通信

NPO 法人 北斗七星

〒376-0006 桐生市新宿 3-3-19

(桐生市総合福祉センター内)

Tel 0277-43-6151 Fax 0277-46-9504

定期総会で振り返る

～北斗七星のこれからに思いがめぐる～

5月19日(日)、いちばん星を会場に今年度の定期総会を開催しました。

令和5年度は、行動制限がなくなり、「完全元通り」とはいかないまでも、明るく元気に活動できました。今年度は報酬改定があり、当初はそれに振り回される感がありましたが、2ヶ月が経ち、全体が落ち着きを取り戻しています。ますます、会員、利用者、職員、私たちに関わる人が充実した、そして成長できるよう北斗七星は前進あるのみです。

総会では、今まで支えていただいていた賛助会費について議題が上がりました。

会員募集当初(平成13年1月)は高校卒業後の子どもたちの将来を考え、居場所、働く場作りを目標に賛助会員の皆さんの応援をたくさんいただき、私たちも資金源にするための豆腐販売等をして活動してきました。そして、きらきら星の中高等部や北斗七星の家を開所するにあたり、経済的な支えもたくさんいただきました。今では昔話のような話で盛り上がりました。

しかし、このまま賛助会員さんの経済的支えに頼るのはどうか・・・という議題でした。

令和5年度の決算を通して、現在でも潤沢ではありませんが、経済的に完全自立をしてもいいのではないかと、福祉サービスも当初に比べると格段に整ってきている、でも人とのつながりは大切にしていきたい、ということになりました。



これからも皆さんの経済的応援(寄付等)をお願いすることもあるかもしれませんが、結果、賛助会員は引き続きお願いすることとし、**会費はゼロにすること**が決議されました。

今後も、「皆さんの応援をいただくと頑張れる」と、

会員一同、これまでの支えに感謝しています。

来年は北斗七星30周年の年、何ができるか・・・

我々も30年の年を重ねてきています。

もうちょっと体力が続くといいなあ～

引き継げる人材を育てなければ・・・

心のつぶやきが漏れてます・・・



お勧め図書館

「新しい人よ眼ざめよ」

大江健三郎 著

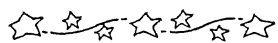
講談社文芸文庫 1,760 円

大江氏のご長男は作曲家として知られているが知的障害者でもある。その子とその後に生まれたきょうだい達を含めた家族の日々を綴る連作の私小説だ。表現は難解だし引用されている内外の文学作品はほぼわからない、ただそのあたりを流し読みでスルーしても共感や驚きが多い。

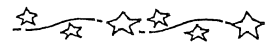
長男の他害やパニックに疲弊する家族、養護学校（特別支援学校）行事への参加、てんかん発作や投薬についての検討。ノーベル文学賞作家も私達と同じような苦悩を抱えていたのだと知ると妙に感慨深い。

障害児を育てるのは無益、とか障害児を育てているから保守的で進歩しないとか、今ならば炎上必至の言葉を投げかけられても大江氏は長男と、そして家族と向き合いその才能を育てていく。

大江氏はこの本とは別に「個人的な体験」という小説で第一子の出生時にその子の障害を知った父親の心境を書いている。驚き、絶望して彷徨う父親が最後に決めたことは？ その結末は当時の文壇では評価が低かったというし確かに物語の流れ的に不自然だったりする。それでも大江氏は文学作品としての評価よりその結末を選択したのだ。正直読み進めるのに苦労したし、当時の世間の障害者に対する意識表現も悲しくなるが2作共に「難解な作品を書くノーベル文学賞作家」を自分達に少しだけ近づけてくれたような気がする。図々しいかな。（森）



いつの間にか・・・来年30周年



ということで、「北斗七星のあゆみ」を振り返りました

- ★ はじまりのはじまり
1989年(H元年)

今よりも障害児者に対して偏見や風当たりが強かった頃
子どもたちのために何ができるか・・・
親亡き後の漠然とした不安から、
母親たちは資金作りのために廃品回収を始めたのです

- ★ 北斗七星(障害児と家族の会)設立
1995年(H7年)

24 家族 親子で活動開始
定例会を月1回開催して
いろいろ勉強したり話し合ったね
ここから銀河通信が発行、今月が225号

- ★ 障害児学童クラブ「きらきら星」発足
1996年(H8年)

月2回の親子で山登りや公園散歩、
お菓子作りから始めたんだよね
この頃は定着した場所がなくて
一日でも早く活動拠点をと願っていたよ
H12年に集団活動・訓練事業の委託が受けられるまで
親と指導員の手弁当活動

- ★ 第一回障害児放課後対策実践発表会
「変わらなきゃ」開催
1997年(H9年)

約200名の参加者
学童期の子どもたちの放課後の充実を求めて、
職員さんも含めいろんな人を巻き込んでやったよね
ほんと今考えるとすごいエネルギーだったね

- ★ 日中活動の場「北斗七星の家」開所
2004年(平成16年)

賛助会員さんの支えや応援もあって
まずは1人の利用者から始めたんだよね
この時から豆腐のほんばいの作業を取り入れて、
資金にもしていたね

- ★ 北斗七星10周年記念チャリティー絵画展開催
2005年(H17年)

3日間の開催だったけど準備に時間と体力使ったよね
でものべ1200名の来場で、売上の一部が会に寄付されて
活動に役立てられたよね

- ★ 特定非営利活動法人(NPO法人)北斗七星 設立
2007年(H19年) 活動発展のためにNPO法人化して、さらに前進

- ★ 放課後等デイサービス「いちばん星」開所
2014年(H26年) きらきら星の利用者が増えて東5丁目に新しく開所

- ★ 北斗七星20周年記念誌発行
2015年(H27年) 今見ても素敵な記念誌ができたよね

そして、その後の10年は福祉制度の改正と世界的なコロナ禍に振り回されました